

サステナビリティへの取り組み

琉球銀行は、「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」の経営理念のもと、地域社会の皆さまとともに、地元発展のため企業活動を行っています。

当行の営業基盤である沖縄県は、四方を海に、また豊かな森林やそこで生息する動植物など、多種多様な自然環境に恵まれ、観光業を中心に第三次産業を基盤とする経済圏を形成しています。

一方近年は、気候変動の影響を受け、沖縄県においても少なからず自然環境が破壊されています。2021年、IPCCにおける気候変動の自然科学的根拠を担当する第一作業部会（WG1）が公表した第6次報告書では「人間の影響が大气・海洋・陸域を温暖化させたことは疑う余地がない」と記載され、この気候変動は人為的な影響に基づくものだと断言されています。

私たち金融機関は、投融資を通じ様々な企業および個人の活動の原動力となっています。そこで、金融機関が温暖化抑制・廃棄物削減など環境に配慮した健全な投融資活動を行えば、環境保全に大きく貢献できる一方、配慮しなければ環境破壊を助長することになってしまうと考えます。

環境破壊は、観光業やサービス業などの第三次産業はもちろん、建設業、不動産業、製造業、農業、金融機関などにも波及し様々な企業や人々に多大な影響を及ぼします。

そこで私たち琉球銀行は、“地球環境の負荷軽減・再生”、“地域社会の発展、県民のより豊かな生活への貢献”を目標とし、地元の様々な企業や人々と協力しながら、環境と社会という密接に関連する2つの課題解決に果敢に挑戦してまいります。

サステナビリティ・ポリシー

- 私たち琉球銀行は、“地球環境の負荷軽減・再生”、“地域社会の発展、県民のより豊かな生活への貢献”を目標とし、その実現に挑戦してまいります。
- 金融機関として、地域環境や社会に与える影響を十分に踏まえ投融資活動を行っています。また、地域社会の発展は、沖縄県の企業・人々・自然など様々な豊かさを育む原動力になると考え、これまでにない新たな金融サービスを提供し地域発展に貢献してまいります。
- 実現に向けての要となるのはやはり人財であり、行員の専門性・課題解決力・リーダーシップの向上に向け尽力してまいります。さらに、成長した行員と地域の皆さまとの密な協働を通じ、地域社会の“仕事をこなす力”の向上にも貢献してまいります。
- 透明性のある健全な企業統治機能を備え、行員共々連携しながらこれらの活動を着実に進めていく所存です。

<最近の主な取り組み>

■ ESGを勘案した投融資活動等

気候変動をはじめとしたESG課題の解決に資する商品・サービスの取り扱いを拡大していきます。

法人のお客さま向け 商品・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●「SDGs応援サービス」(取り組み状況の診断や宣言書発行など)によるSDGsへの取り組みサポート ●「りゅうぎんSDGsローン」による融資実行総額の0.10%相当分を世界遺産(首里城復興、やんばる・西表島)の管理団体等へ寄付 ●「りゅうぎんECO POWER」(資金使途:気候変動対策に資する設備資金)による融資金利優遇 ●環境省「地域脱炭素融資促進利子補給事業」に基づく融資
個人のお客さま向け 商品・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●投資信託「グローバルESGバランスファンド」の信託報酬の一部を沖縄県が実施するSDGs関連事業に寄付 ●「ZEH」や「BELS」認定による住宅ローン・アパートローンの金利優遇、資金使途の拡大(中古住宅・マンション取得資金、改装資金)
投資活動	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化対策や再生可能エネルギーなど、環境保全に取り組む資金を調達するために発行されるグリーンボンドへの投資 ●当行を含む沖縄県内企業で組成された琉球ファンド(運営:株式会社琉球キャピタル)への参画・出資(コロナ禍における資本支援を中心に円滑な事業承継や中長期的な事業拡大に資する県内企業への資金供給を担っている) ●「BORベンチャーファンド2号投資事業有限責任組合」(運営:株式会社琉球キャピタル)の設立

■ 文化振興

りゅうぎん紅型デザインコンテスト／りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業

伝統文化支援事業として、毎年「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を開催しています。

沖縄県の伝統工芸である紅型の技法を踏まえながら、紅型デザインの向上を図る「創造的な場」を紅型作家や愛好家に提供することを目的としています。

また、600年以上の歴史がある、漆芸の技術伝承を支援する「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を実施しています。博物館や美術館に所蔵されているような、製作するにあたり高い技術が必要となる琉球漆器の復刻を通して、沖縄県の伝統工芸である「琉球漆芸」の技術伝承や、産業継続の支援を目的とした事業です。

2022年は、第1期(2019年度～2021年度)作品展示会を開催しました。



りゅうぎん紅型デザインコンテスト



りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業





■ 教育支援 海外留学支援事業



一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団では、返還義務のない奨学金を給付する「りゅうぎん海外留学支援事業」を毎年実施しています。

本事業は、返還義務のない奨学金を給付することで、異文化交流を希望する学生や専門性の高い学業の研鑽を志す学生、社会人を支援し、人材育成を通じて、社会の発展に寄与することを目的としています。



■ 地域支援



りゅうぎんユイマール助成会 寄付金贈呈／源河朝明記念那覇市社会福祉基金

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役員に募金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで財源をつくっています。これまでの助成件数・金額は1,443件、2億4,571万円となりました。(2023年3月31日現在)

同助成会は、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、「一般公募助成金」や「子ども居場所づくりイベント事業助成金」の他に「18歳で児童養護施設等を卒業する方々への応援事業」として、児童養護施設および里親家庭を卒園等し、就学・就職する児童に対して、支援金として一人5万円を贈呈しています。

その他、社会福祉活動に取り組んでいる団体等へ助成する「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の事務局として、その運営に携わっています。



りゅうぎんユイマール助成金一般公募



子ども居場所づくりイベント事業助成金



源河朝明記念那覇市社会福祉基金

■「沖縄子どもの未来県民会議」へ寄付金贈呈

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



琉球銀行で販売している投資信託商品「グローバルESGバランスファンド」の信託報酬の一部より拠出し、貧困問題・雇用対策促進・進学支援ならびに沖縄の子どもの未来に係るテーマを解決推進していく沖縄県の取り組みである「沖縄子どもの未来県民会議」へ寄付金を贈呈しました。



■ 健康経営

健康経営優良法人2023認定取得

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2023」に認定されました。「健康経営優良法人2020」の取得から、4年連続の認定です。

琉球銀行では2019年6月に「健康経営宣言」を策定し、頭取を最高責任者とした推進体制のもと、琉球銀行健康保険組合と一体となって職員の健康保持・増進に積極的に取り組んでいます。



2023

健康経営優良法人

Health and productivity